別紙

# 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称: 特定非営利活動法人 環境・福祉事業評価センター 長野市南高田 2 - 5 - 1 6
評価実施期間: 平成 28 年 7 月 27 日から平成 28 年 8 月 31 日 評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 50292、B15021

## 2 福祉サービス事業者情報(平成28年7月現在)

事業所名:			種別:
(施設名)訪問看護ステーションみどり		訪問看護	
代表者氏名:理事長 小林 伸陽			定員(利用人数): 292名
(管理者氏名)在宅箕輪ブロック事務局長 唐沢一夫			
設置主体:上伊那医療生活協同組合			開設(指定)年月日:
経営主体:上伊那医療生活協同組合			平成9年2月4日
所在地:〒399-4601			
上伊那郡箕輪町大字中箕輪12223			
電話番号:0265-79-1749			FAX 番号: 0265-79-1718
ホームページアドレス:			
職員数	常勤職員: 8名	非常	勤職員 30名
	(専門職の名称) 名		
専門職員	看護師 20名		
	理学療法士 11名		
	作業療法士 7名		
施設・設備	(居室数)	(影	·備等)
の概要	事務所、相談室	車	両

#### 3 理念・基本方針

・上伊那医療生協看護・介護理念

私たちは人として、人間らしく前向きに活きていくために、病気や障害があっても健康に暮らしていくことを目指し、共に向かい合います。

人権を守り進める医療、福祉を追求し、住み慣れた地域で療養できる看護、介護を実践していきます。

・上伊那医療生協 看護・介護基本方針

気軽にかかりやすい医療機関を目指します。

安全で質の高い看護、介護を提供するために、専門職として必要な知識、技術の習得に努めます。 チーム医療・継続看護、介護を大切にします。

地域の方々の健康増進・疾病の予防に努めます。

経営に積極的に参画します。

・上伊那医療生協 看護・介護目標

患者さん、利用者さんの話を真摯に聴ける看介護職員を目指します。

患者さん、利用者さんを中心に、他職種、他部署との率直な意思疎通が図れる風土をつくります。 学習と交流(集団化)、そして経験(責任ある任務の遂行)による、職員育成を行います。

・訪問看護ステーションみどりの理念

やっぱり家が一番!笑顔と技術と心で在宅生活を支えます。

その人が、その人らしく生きる、望む場所で安心して生活できるように支援します。 ご本人はもちろん、介護されているご家族も支えます。

あらゆる年齢層、予防から、医療依存度の高い方、在宅看取りまで支えます。

2 4 時間 3 6 5 日サポートします。

断らずに受け入れます。

上伊那医療生協理念、又訪問看護ステーションみどりの理念について双方とも非常にわかりやすく明確であり、患者・利用者に周知しやすい。

#### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

上伊那生協病院を中心にして上伊那地区に5つの拠点を設置して総合的な医療介護サービスを担っている。5つの拠点はブロックと称しそれぞれにデイケア、デイサービス、訪問看護、訪問リハビリ、ヘルパーステーション、小規模多機能、ケアプランセンターなどを配置して地域福祉、医療で上伊那地域の中心的存在になっている。

「民医連綱領」を基本とし「世界の健康実現の目標」を掲げるHPH(健康増進活動拠点病院)ネットワークに加盟し、ISO9001によるマネジメントシステムにより質の高い医療、介護、健康づくりのサービス提供につとめ、継続的改善を行っている。

2015年度実績で組合員約23,400人、事業収入約39億4千万円、組合員組織を中心に地域活動を展開し、「物語られるいのち」を活動価値の源に置き、いのちと平和を守る運動にも積極的に取り組んでいる。

又今年度は第5次長期計画基づき、それぞれの計画が立てられ、単年度ごとの到達目標の設定の下に事業展開が進んでいる。

### 5 第三者評価の受審状況

受審回数(前回の受審時期)

1回(今回が初めての受審)

### 6 評価結果総評(利用者調査結果を含む。)

医療生協としての組織がしっかりしており、全国連との関係指導もあって事業内容は充実している。又 ISO9001 の審査で帳票を含めて記録、報告など整備されている。

職員は中堅が多くコミュニケーション、信頼関係ともにできている。職場の雰囲気は良く管理職の所作にも誠実感がにじんでいる。

時代の諸事情の中で経営には厳しさも感じるが、地域の福祉医療の拠点として、崇高な理念のもと今後も中心的役割を堅持してほしい。

#### 特に良いと思う点

- ・民医連綱領に基づいて事業者の理念が、さらに各事業所においては具体的な理念、指針が明示(特に 訪問看護ステーションみどり)されており、地域、利用者へ周知に役立っている。
- ・長期計画が職員に周知され、経営に関して職場会などで定期的に検討がなされ全員で改善や事業推進 に取り組んでいる。
- ・全国一律ではあるが毎年利用者満足度調査を実施しており、又この分析結果に基づいて職員で改善目標数値の設定をして取り組んでいる。
- ・ISO 9 0 0 1 の審査を毎年受けており、今年は更新の審査も受け、より質の高いサービスを目指し組織一丸となって取り組んでいる。
- ・上伊那民医連職員共済組合があり、会員相互の互助、親睦、福利厚生などが行われ給付金支給の制度 もある。又事業所内外の職員によるボランティア活動も積極的に行われている。
- ・訪問看護ステーションみどりは臨時職員も含めて 38 人を有する事業所であるが、事業所長他の管理 指導が誠実に行われており上下の信頼関係が厚い。

#### 特に改善する必要があると思う点

・医療生協の理念の告知については機関紙(いろりばた)などの広報で地域・組合員などに知らされているが、総代会の内容などについては、グラフや数値を入れ、もう少しわかりやすい内容に工

夫されるとともに利用者への機関紙の配布も検討されたい。

- ・コンプライアンスマニュアルの内容については事業の根幹となる倫理規定であるので、具体的な 行動倫理を記載するなどして見直しを図られたい。コンプライアンスについて独自研修会も頻繁 に実施されたい。
- ・職員間の伝達方法については朝会で主に行われているが、一部伝達不備の事例がありました。朝 会のみでは不十分と考える。記録の閲覧や口頭伝達ルールの再検討をされたい。
- ・経営状況を確認しながら事業の効率化のために、訪問記録用の端末モバイルの導入などについて も検討されたい。
- 7 事業評価の結果(詳細)と講評

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織及び評価対象 組織の運営管理(別添1) 評価対象 適切な福祉サービスの実施(別添2)

- 8 利用者調査の結果 アンケート方式の場合(別添3-1)
- 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(平成28年8月31日記載)

- ・必要な書類、マニュアル、記録、そして意味を再確認できた。今後、業務整理やマニュアル 作りにいかし、質の向上に努めたい。
- ・利用者本位のサービスを提供することの大切さを再認識できた。倫理の学習や、情報共有の 仕組み作り、見直しを行い、質の向上、満足度につなげていきたい。
- ・管理者としてすべき、職員へのサポートを、改めて確認できた。職員教育だけでなく、 新しいことをしたあとや、何かあったときのフォローを大切にし、いきいき働ける職場づくり、 いきいき働く職員づくりをおこなっていきたい。
- ・事業所が、大切にしていることやどんなことを行っているのか(理念、取り組み報告、アンケート結果、苦情対応など)、利用者や地域に発信することが必要。取り組みたい。
- ・利用者アンケート、職員の思いが確認でき、参考になったとともに、励みになった。

今回、ご指導いただいたことを参考にし、質の向上に努めていきたいと思います。 ありがとうございました。